

聲明書

日鐵、日協合同問題に關して二大組合合同問題の経緯
製鐵所に兩組合が對立して獨目の立場に於て進取をなして居る事
はあらゆる意味に於て良結果を齎さないと首ふ見地から本年三月
二十九日大谷會に於て製鐵廠長共同委員會の設置を見るに至り
兩組合は親交なる提議を圖り共同職線を確立し製鐵廠長の發展延
いては従業員の福祉を増進する公正なる解決を期するを目的とし
た然して此の共同委員會に依つて従業員の自主的安全運動が行は
れ以て益々其の親交の度を高められ兩委員會に於て合同問題が論
議されるに至つた。

其の後本問題も兩組合の旅行問題で一時杜絶して居たが旅行決定
後去る六月十八日大谷會に於て安全運動の締くくりの爲共同委員
會を主催して其の席に於て合同問題に對する殆んど最後のな意見

が一致したので可及的に各々組合機關に諮る事になり其の結果兩
組合共に合同に關しては兩場一致贊成し此の合同に對する細目協
定の爲め各々其の折衝委員として次の如く之を任命した。

日鐵側

谷口友太郎 龜尾三郎 生野輝夫

渡邊仁 篠原進

日協側

原田國定 中村史郎 山田政雄

小島身延 龜井仙太郎

二十三日日鐵代表谷口主事、日協代表原田書記長兩者會見し第一
回折衝委員會を二十四日夜開催することに決定した。

日本製鐵従業員組合

日本産業労働協進組合